

ダンパーフレークの導入(7)
ーデジタル伝送ラインー

1. 始めに

前報(6)までに、フォノ入力ライン、LAN 伝送ライン、アナログ伝送ライン、USB 伝送ラインなどを対象にダンパーフレークを適用してきましたが、今回は、S/PDIF デジタル伝送ラインについて検討していきます。

2. ダンパーフレークの試聴方法

S/PDIF デジタル伝送ラインの候補としては下記の 2 系列があります。

DMR-UBZ1→デジタルアキュライザーDACU-500→Sonica DAC

47 研 4716→CCV-5→デジタルアキュライザーDACU-500→DAC-1

*CCV-5 には GPS-777 より 44.1KHz のクロック入力

GPS-777 のクロック出力端子にはダンパーフレーク貼り付け済

前者の場合、DMR-UBZ1 の BPODCH 再生と DVD の再生を行い、後者の場合は CD の再生です。

なお、BPODCH 再生では、前報(2)の LAN 端子 2ヶ所にダンパーフレークを貼っている効果がベースとしてあり、BPODCH 再生、DVD の再生と CD 再生のすべてでは、前報(3)の TruPhase と 300B アンプに介在する BACU-2000 の XLR 出力端子ダンパーフレークを貼っている効果がベースとしてあります。

上記の S/PDIF デジタル伝送ラインへのダンパーフレークの適用はケーブルの端子など、いくつか適用箇所がありますが、それぞれのデジタルアキュライザーの入力側に適用してみます。

Sonica DAC 入力側のデジタルアキュライザーDACU-500 入力側



DAC-1 入力側のデジタルアキュライザーDACU-500 入力側



前者の場合、試聴する音源は前報(2)で使用した下記とします。

マーラー 交響曲第3番 ロレンツォ・ヴィオッティ指揮ベルリンフィル

ファリャ 三角帽子 ファンホ・メナ指揮 BPO

リスト ピアノ協奏曲第1番 キーシン (ピアノ) ヤンソンス指揮 BPO

さらに下記の DVD も使用します。

BBC OA0816

バッハ カンタータ 179・199・113

ジョン・エリオット・ガーディナー指揮イングリッシュバロックソロリスト

聖デヴィッド教会収録 (Live)

後者の場合、47研 4716 による CD の再生を行います。

試聴する音源は前報(3)で使用した下記とします。

Evidence EVCD015

ベートーヴェン Sonata for cello and piano No. 1 他

フランソワ=フレデリック・ギィ (ピアノ)

harmonia mundi KKC-5976

モーツァルト他 ピアノと管楽器のための五重奏曲 変ホ長調 K.452 他

アンサンブル・ディアローギ

S&R AVCL-25005

バッハ他 あなたがそばにいたら他

森麻季 (ソプラノ) / 山岸茂人 (ピアノ)

NML WS001

Gustav Mahler Symphony No. 1 in D major

Fabio Luisi 指揮 Wiener Symphoniker

3. ダンパーフレークの試聴結果

DMR-UBZ1 の BPODCH 再生では、マーラーの交響曲第3番、ファリャの三角帽子、リストのピアノ協奏曲第1番のいずれもダンパーフレークを LAN 端子の2ヶ

所に貼った効果により、これまでにないライブ感が楽しめます。さらに DMR-UBZ1 と Sonica DAC の間に介在するデジタルアキュライザーDACU-500 にダンパーフレークを貼りますと、マーラーの交響曲第 3 番、ファリャの三角帽子、リストのピアノ協奏曲第 1 番のいずれも前報(2)で LAN 端子に貼った時の効果をさらに上乗せしたような印象です。即ち、ホールの残響音や弱音がより明瞭になり、スタンウェイの低音の迫力がまし、オーケストラの各パートの楽器の音が明瞭になります。

バッハのカンタータの DVD 再生では、教会の残響音がより明瞭になり、ソプラノやテノールの声の質感が明瞭になります。

47 研 4716 による CD の再生では、ダンパーフレーク適用前は、前報(6)の CD ドライブからの再生に比べて解像度があまく、おっとりした再生ぶりです。

CCV-5 と DAC-1 の間に介在するデジタルアキュライザーDACU-500 にダンパーフレークを貼りますと、ベートーヴェンのチェロソナタでは、ディテールの再現が向上し、チェロの擦弦音やピアノの響きが前報(6)の CD ドライブからの再生に近づいた印象です。

モーツァルトのピアノと管楽器のための五重奏曲では、フォルテピアノやナチュラルホルンなどの古楽器の音色の曖昧さが取れてきます。

森麻季では、森麻季のソプラノが伸びやかになり、ピアノの響きが豊かなになります。

マーラーの交響曲 1 番では、オーケストラの各パートの音の分離が向上し、迫力が増しています。

4. まとめ

DMR-UBZ1 の再生における Sonica DAC 入力側のデジタルアキュライザー DACU-500 への適用と 47 研 4716 の CD 再生における DAC-1 入力側のデジタルアキュライザーDACU-500 への適用の効果を認めました。再生頻度の多い前者にダンパーフレークの貼り付けを残しておきます。

以上